

**第 1 回 冷泉小学校跡地活用協議会
参考資料**

**平成 3 1 年 3 月 2 8 日
福岡市**

(1) これまでに提出された跡地への要望

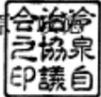
■平成28年6月7日 博多区冷泉自治協議会 (全文)
平成28年6月7日

旧冷泉小学校の跡地活用に関する要望書

福岡市長
高島 宗一郎 様



博多校区冷泉自治協議会

会長 竹ヶ原 

初夏の候、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、ご承知の通り旧冷泉小学校は、平成10年に周辺の奈良屋小学校、御供所小学校、大浜小学校と統合され、博多小学校となり、平成13年に旧奈良屋小学校敷地に新校舎が完成し、移転した後、跡地となっております。

この間、平成16年には、地域と市が共働して「旧冷泉小学校跡地活用基本構想」がまとめられ、平成17年に「知的障がい児通園施設」、平成18年に「冷泉公民館・老人いこいの家」を開館し、また、平成23年には旧冷泉公民館の建物をリニューアルし、「はかた伝統工芸館」がオープンしており、一部の跡地利用が図られているところです。

跡地の周辺地区では、平成23年に博多駅が建て替わり、現在も駅に隣接する区域での再開発や地下鉄七隈線の延伸が進められております。また、クルーズ船の来航が増加し訪日観光客が大きく増加していると聞いております。

しかしながら、旧冷泉小学校跡地の残りの大部分の敷地については、学校移転から15年、基本構想の策定からも12年が経過しておりますが、具体的な跡地利用計画が見えないままとなっております。

旧冷泉小学校跡地は、櫛田神社に隣接し、博多座やキャナルシティにも近い、博多の中心部に残された貴重な空間であり、歴史や賑わい、地域のコミュニティの場として、有効に活用されることを願っております。

地域では、独自に跡地利用にあたっての導入機能について検討し、平成28年5月の自治協議会総会において賛同を得ましたので、地域の総意として次の通り要望いたします。つきましては、跡地活用の具体化にあたっては、要望内容を踏まえて検討していただきますようお願いいたします。

1. 体育館などによる避難所としての機能
 - ・ これまでは小学校の体育館が収容避難所として指定されてきており、小学校の移転に伴い、災害時の避難場所がなくなっております。このため、新たな施設整備にあたっては、平常時は体育館等で使用でき、災害時には収容避難所として使用できるような機能がぜひ必要です。
2. 博多の歴史や伝統文化を展示・体験できる観光の拠点機能
 - ・ 旧冷泉小学校跡地は、博多総鎮守の櫛田神社に隣接しており、櫛田神社と合わせて博多観光の拠点となるものがが必要です。山笠等の祭事や博多織・博多人形等の伝統工芸の体験、博多券番による伎芸が見られるもの、また、博多で発掘された文化財を展示するなどにより、博多の歴史や伝統文化をより身近で感じられ、福岡の人が博多を誇れるようなもので、日本人観光客だけではなく外国人も楽しめる施設を要望します。
3. 特別養護老人ホーム
 - ・ 超高齢化社会を迎え、この地域でも今後ますます高齢者が増えていくことが想定されます。既存の特別養護老人ホームでは多くの待機者がいると聞いており、また、冷泉地区には特別養護老人ホームがありません。地区の高齢者が住みなれた地域で過ごすことができる特別養護老人ホームが必要です。
4. 保育所（保育園）
 - ・ 近隣に十分な保育所がなく、希望する保育所に通うことができなかつたり、兄弟姉妹が別々の保育所に通うことが生じるなど、多くの若いお父さんお母さんが大きな負担を強いられています。博多部の次世代を担う子どもを育み、若い世代が安心して住めるように、希望する子どもが安心して保育が受けられる施設が必要です。
5. 図書館
 - ・ かつて築港本町にあった福岡市民図書館が百道浜に移転し、この地域では図書館の利用が不便になっており、地域コミュニティの場として、地域図書館の整備を希望します。
6. 旧冷泉小学校跡地活用に合わせた、冷泉公園の再整備
 - ・ 博多の文化や歴史を目的とした観光に伴う来訪者が利用する大型バスの駐車場・乗降場は、周辺景観への配慮や天候を問わず利用しやすいよう、冷泉公園の地下に整備することを希望します。また、どんたくや山笠などの祭りや地域イベントにおいて、公園全体が一体的に広く利用できるような再整備をお願いします。

(1) これまでに提出された跡地への要望

■平成16年6月 博多山笠振興会 (全文)

要 望 書

貴台におかれましては、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げますとともに、平素より当振興会に対しまして、多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

伝統七六三年を誇る国指定重要無形民俗文化財である博多祇園山笠は、絢爛豪華な飾り山笠という「静」、締め込み、法被姿の男達が勢い水を浴びながら疾走する勇壮無比な舁き山笠という「動」の対比が素晴らしい、博多っ子気質そのものを反映した祭り行事であります。

その起源につきましては、諸説あるところですが、最も有力なものは仁徳2年、承天寺の岡祖、聖一因師が疫病退散のため人々がかつかく施餓鬼棚に乗って甘露水をまいたのがはじまりといわれており、古来より博多の人々にとっては生活と密着した行事であり、海外との長い間の交流を通して、様々な文化を受け入れ、そして育んできたその活力は、高部博多を育んだ自治の精神として、今日、博多部に脈々と息づいている大変貴重な財産であります。

地方の時代といわれる二一世紀。明治維新から百数十年、日本経済を支えてきた、東京一極集中に象徴される中央集権システムが今大きく変わろうとして、風は確実に地方に吹き始めています。いま地方に求められるものは都市において衣食住にかかわる経済的基盤と異なり環境と文化が日常生活の中に反映された住民自治や地域コミュニティでございます。

このような時代にあつて、博多祇園山笠はその歴史や伝統格式が示すように様々な習わしや作法が親から子へそして孫へと代々受け継がれ、青少年の健全育成をはじめ地域文化や町の活性化にも大きな役割を果たしていると自負しております。

昭和三十年に発足した博多祇園山笠振興会は、その役割を山笠行事の円滑な遂行に留めず、広報宣伝活動や歳度にもわたる国内外への舁き山笠遠征、飾り山笠展示などの中心的役割を担い、福岡市の発展にも多大な影響を与えて参りました。

このたび、同振興会が創立五十周年という大きな節目を迎えるにあたり、永年にもわたって、悪き伝統は排除し、良き伝統を育んできた博多祇園山笠のすべてを市民の皆様方にはじめ多くの観光客の皆様にも幅広くご覧いただくため、是非とも大型駐車施設を完備した「祭り会館」が必要であることを強く認識しており、貴台のお力による計画推進をお願い申し上げます。

平成十六年六月吉日
博多祇園山笠振興会
会長 後藤久義

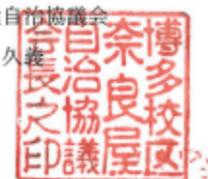
■平成28年12月11日 博多区奈良屋自治協議会 (全文)

博多区長 古賀康彦 様

平成28年12月11日

博多校区奈良屋自治協議会

会長 後藤久義



旧冷泉小学校跡地活用についての要望書

平成28年 月、旧冷泉小学校跡地活用について、冷泉自治協議会より6つの案が福岡市に提出されました。活用案は隣に位置する奈良屋地区にとっても、関心の高いところであります。提案のひとつに「図書館」があると聞き及んでおります。

奈良屋まちづくり協議会図書部(現・図書支援部会)は、平成7年の市民図書館移転後もその跡地利用やアジア美術館開館の際には、当館と福岡市総合図書館のオンライン化を提案してきましたが、残念ながら実現には至りませんでした。

平成8年、奈良屋地区に図書館環境の灯を消してはならないと、福岡市総合図書館「やらの文庫」として文庫登録し、奈良屋公民館を拠点に活動をしてまいりました。

現在、その灯は「博多小学校開放図書館」として、小学校開校時より消えることなく、引き継がれております。週2回の図書館運営はもちろん、月1回のお話会、年3回の子供向けの行事、旧メンバーによる公民館での赤ちゃんお話会などの活動が定着しております。

更に「博多」は文化と歴史がある街です、残念ながら戦災で貴重な資料が消失されましたが、かろうじて残った文化遺産、および戦後の復興における「博多っ子」の記録などが住民の高齢化で消え去ろうとしています、ぜひこのような歴史的資料を集約される「図書館」の設立を希望いたします。

冷泉自治協議会の提案のひとつである「図書館」は、この地域にずっと住み続けたいという願いや、地域の歴史を引き継いでいく思いを培ううえで必要な環境整備になり得ます。人を豊かにしてくれる「図書館」を今度こそ実現していただきたく、旧冷泉小学校跡地活用についてご提案いただきますようお願い申し上げます。

■平成24～30年 福岡商工会議所提言 (抜粋)

福岡市政に対する提言

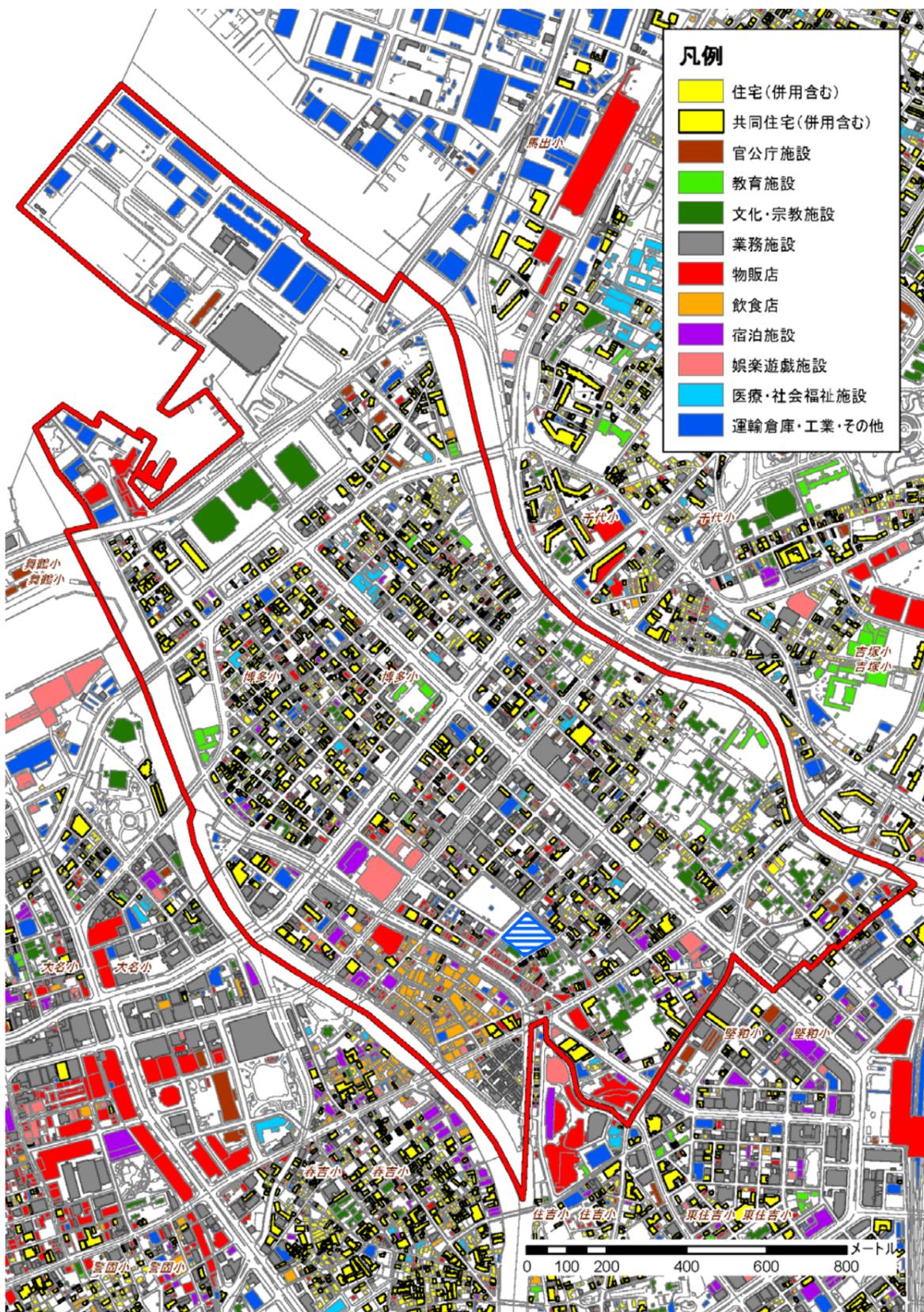
福岡商工会議所

②冷泉地区の観光拠点機能整備、御供所地区との回遊性向上

- 冷泉地区を観光拠点ならびに地元伝統工芸・文化等の発信拠点となるよう整備されたい。また、冷泉・御供所両地区の回遊性向上のために道路・標識・その他諸施設を整備されたい。
- ◆伝統芸能館などの近隣の各施設ではイベント企画、広報、集客、問合せなどが個別対応となっており、観光客や海外旅行会社などのインバウンドにとって利便性が高いサポート体制になっていない状況である。博多エリアの観光振興を促進するために、福岡市が中心となって関連する諸施設・事業者・店舗等で観光支援のプラットフォームを立ち上げ、企画提案するコーディネーターとしてエリアマネジメント機能を持った体制を構築されたい。
- ◆オープントップバス・観光バス・自家用車・タクシーの乗降場・駐車場(駐輪場)などを整備されたい。なお、冷泉地区における駐車場は敷地の有効活用と景観の点から冷泉小学校跡地または冷泉公園の地下に設置されたい。
- ◆周遊ルートとなる承天寺通りと御供所通りの連結性、および大博通りを挟んだ冷泉側(楠田表参道)と御供所側の回遊性向上のため、「地下道等」を整備されたい。

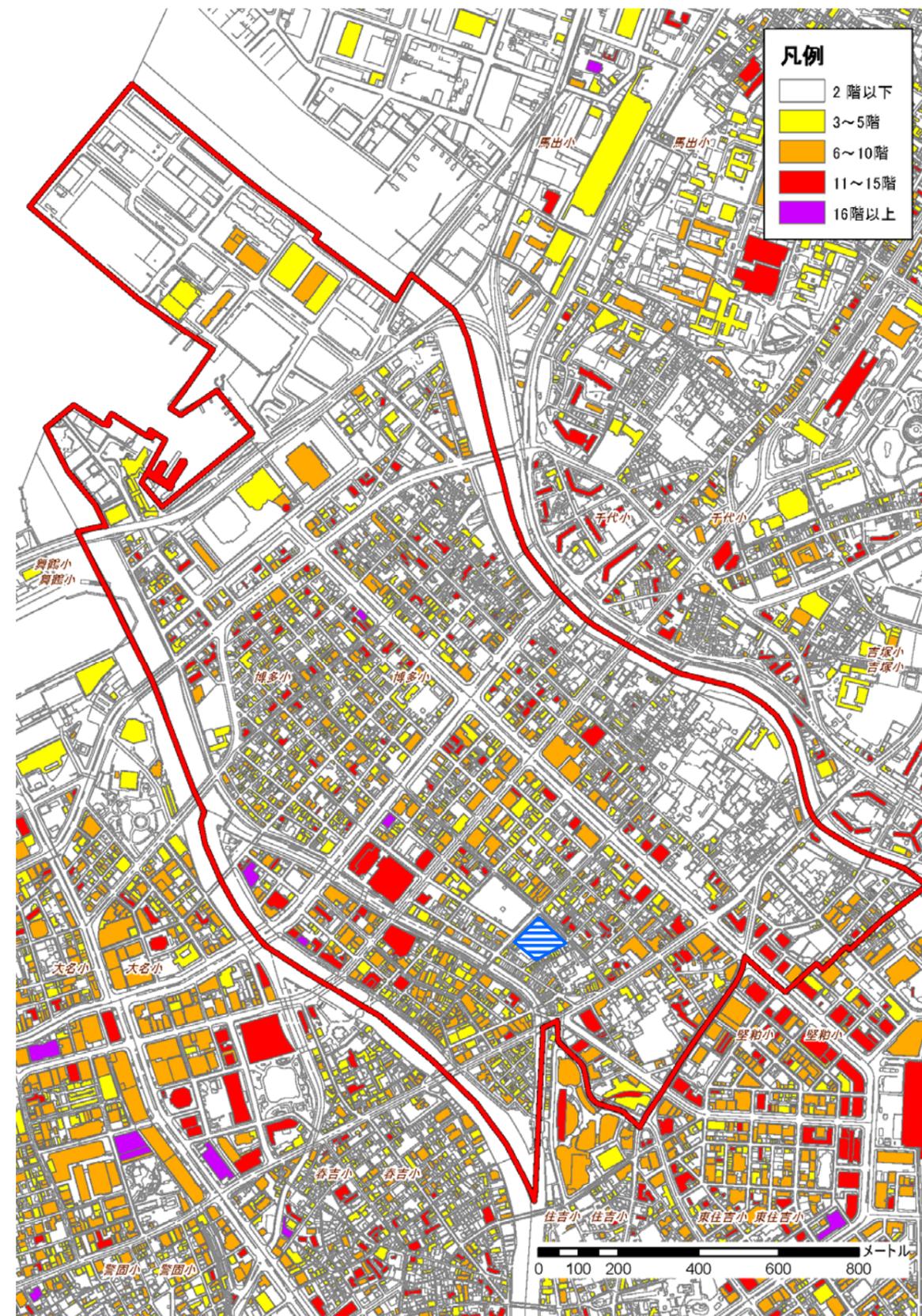
(2) 建物用途

・跡地周辺は、川端商店街が隣接しており、南側では物販や飲食店が多いが、業務系施設を中心に跡地東側では共同住宅も多く立地している。



(3) 建物階数

・大博通りや明治通りといった幹線道路沿いに高層の建物が多く立地しているが、跡地周辺の南側は低層な建物や敷地規模の小さい建物が多く立地している。



(4) 福岡市内の主要プロジェクト

福岡都心部の機能強化

【施策体系】

天神地区では、アジアの拠点都市としての役割・機能を高め、新たな空間と用を創出するプロジェクト“天神ビッグバン”を推進しています！

これにより、天神地区は付加価値の高いビルへの建替えなどがスピード感をもって進み、ビジネスやショッピング・憩いをはじめ、人・モノ・コトが交流する新たな空間が生まれます。

また、今まで以上に多くの人が活躍する一方で、過度に自動車に依存しない、ひとを中心とした歩いて出かけたくなるまちに生まれ変わります。

数値目標 2024年までの10年間で30棟の民間ビルの建替えを誘導し、新たな空間と雇用を創出する。

【参考】建替えによる効果の試算

- 延床面積: 約1.7倍 (444,000㎡ → 757,000㎡)
- 雇用者数: 約2.4倍 (39,900人 → 97,100人)
- 建設投資効果: 2,900億円
- 経済波及効果: 8,500億円/年



(仮称) 天神ビジネスセンター (2021年9月(竣工予定))

■ 計画的な機能更新とあわせ業務機能や商業等多様な機能の強化

☆「街の共用部」などにおける、都心機能を強化する機能の導入
(例)
・アジアビジネス、創業支援、情報発信、集客、交流、創造等の機能 など

■ 立体的な歩行者ネットワークの拡充と快適で質の高い歩行者空間の創出

【敷地内】
● 立体広場の設置(地上地下)
● 東西貫通通路の確保(地下)
☆ その他機能強化と魅力づくりに寄与するもの

【敷地外】
● (仮称) 因幡町通り地下通路
☆ 明治通り等の歩道高質化
☆ 因幡町通りの高質化

■ 円滑で安全な交通環境の形成

☆ 利用しやすい駐輪場の確保や集約的な配置
☆ 駐車場出入口の集約化及び共用車路の設置
☆ 共同寄附き駐車場の設置
☆ その他機能強化と魅力づくりに寄与するもの

■ 環境負荷の低減に配慮したまちづくり

☆ 建築物の環境負荷の低減
☆ その他機能強化と魅力づくりに寄与するもの
(例)
・ CASBE福岡AP74評価、建築物の省エネ
・ 因幡町通りへのミストの整備等

■ 連続性と個性が融合したまちなみの形成

● 壁面後退によるゆとりある歩行者環境の形成
☆ 沿道や建物壁面等への見える緑化
☆ 回遊動線沿い建物低層部の賑わい施設の導入
☆ その他機能強化と魅力づくりに寄与するもの

■ 誰もが安心して安全なまちづくり

☆ 建築物の耐震性能の向上
☆ 防災備蓄倉庫などによる防災性能の向上
☆ その他機能強化と魅力づくりに寄与するもの

天神1丁目南ブロックのまちづくり

ウォーターフロントネクストの推進 (中央ふ頭・博多ふ頭の再整備)

■ 「MICE」「クルーズ」「賑わい」が融合した一体的なまちづくりを進め、東アジア有数のグローバル交流拠点の形成に取り組んでいく。

- MICE** ○ MICE機能の強化による供給力の向上と「オール・イン・ワン」のMICE拠点の形成
- クルーズ** ○ クルーズ機能の強化による供給力の向上と多様なクルーズ船が寄港する質の高いクルーズ拠点の形成
- 賑わい** ○ 福岡都心部の新たな魅力となる賑わい・集客機能等の拡充と海辺を活かした連続性のある賑わい・憩いの空間づくり



九州大学移転跡地 (箱崎地区)



博多旧市街プロジェクト

■ 中世最大の貿易港湾都市であった博多の中心地域である博多部において、価値ある資源をストーリーとまちなみでつなぎ、「博多旧市街」として、市民や観光客の皆さんが認知し楽しんでもらえる環境を整え、魅力も高めていくプロジェクトを始動しています。



地下鉄七隈線沿線事業

■ 地下鉄七隈線の延伸



- 凡例**
- 延伸区間: 天神南～博多
 - 営業区間: 七隈線
 - 駅: 天神南駅
 - 空港線

博多コネクティッド

博多駅の活力と賑わいをさらに周辺につなげていく『博多コネクティッド』始動!!

対象エリア

博多駅から半径約500m, 約80ha

主な誘導策

- ・ 福岡市独自の支援制度等: 福岡市都心部容積率特例制度
 - ビルへのテナント優先紹介
 - 行政によるビルのPR
- ・ 国の支援制度: 特定都市再生緊急整備地域 (金融支援, 税制優遇など)
- ・ 国家戦略特区関連: 国家戦略道路占用事業

※航空法の高さ制限の承認については、計画毎に周辺の既存物件の高さを踏まえ、国土交通省との相談となります